

全国中小企業動向調査結果

(2009年10 - 12月期実績、2010年1 - 3月期以降見通し)

目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・	4
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
資金繰り、借入・・・・・・・・・・・・・・・・	12
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・・・・・	13
販売価格、仕入価格・・・・・・・・・・・・・	14

【中小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・	16
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
純利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
価格、金融関連・・・・・・・・・・・・・・・・	22
雇用、設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・・・・・	24

<問い合わせ先>
日本政策金融公庫 総合研究所

【小企業編】
小企業研究第2グループ
TEL 03-3270-1691
担当 榑崎、藤井

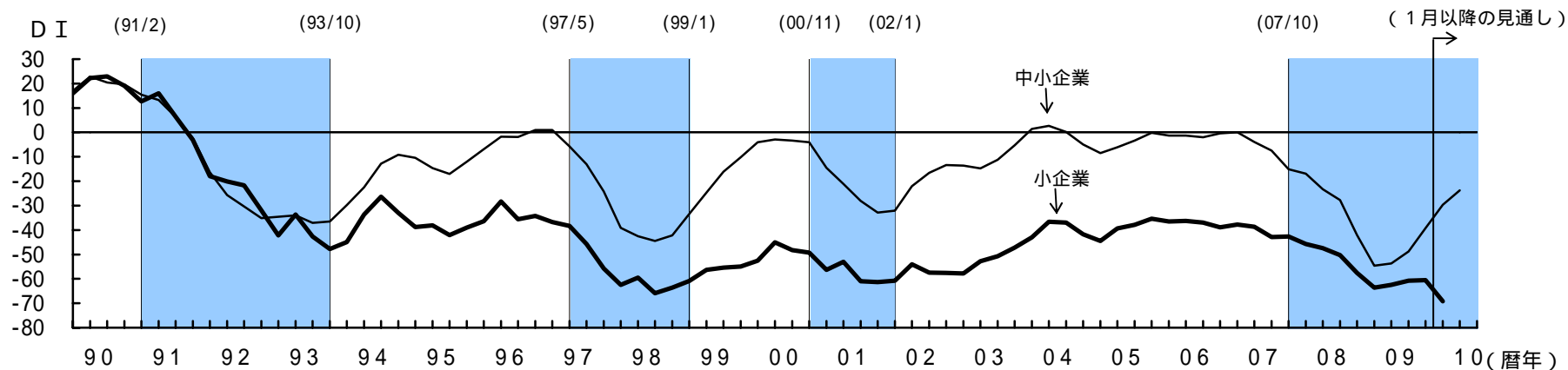
【中小企業編】
中小企業研究第1グループ
TEL 03-3270-1703
担当 桑本、磯野

調査結果の概要

小企業 ... 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられるが、いまだ低迷している

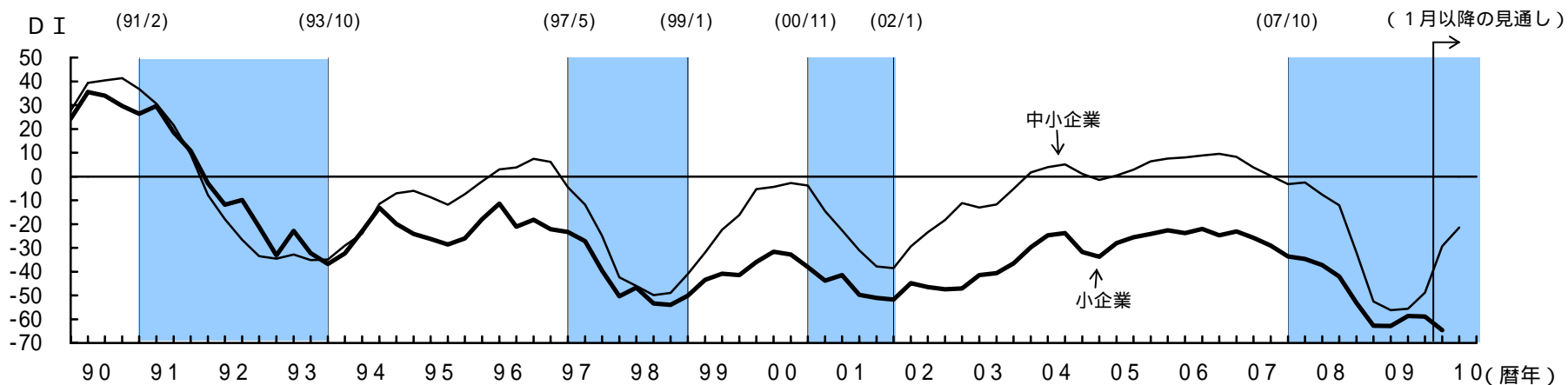
中小企業... 中小企業の景況は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、持ち直しの勢いは緩やかなものにとどまっている

1 業況判断D Iの推移



- (注)1 小企業は「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合。
2 中小企業は「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合(前年同期比、季節調整済)。

2 売上D Iの推移



- (注)1 小企業は「増加」企業割合 - 「減少」企業割合(前年同期比)。
2 中小企業は「増加」企業割合 - 「減少」企業割合(前年同期比、季節調整済)。

小 企 業 編

(2009年10 - 12月期実績、2010年1 - 3月期見通し)

小企業の景況は、 持ち直しの動きがみられるが、いまだ低迷している

[概況]

- ・ 業況判断D Iは、前回調査(2009年7 - 9月期)に比べて0.3ポイント上昇した。来期については、低下する見通しとなっている。
- ・ 売上D Iは、2期ぶりに低下した。来期についても、低下する見通しとなっている。
- ・ 採算D Iは、前年同期の水準を11期連続して下回った。来期についても、前年同期の水準を下回る見通しである。
- ・ 借入D Iは、4期ぶりに低下した。

[調査の実施要領]

調査時点 2009年12月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 7,173 企業 [回答率 71.7 %]

< 業種構成 >

	調査対象	有効回答数	
製造業 (従業員20人未満)	1,500 企業	1,148 企業	(構成比 16.0 %)
卸売業 (同 10人未満)	800 企業	578 企業	(同 8.1 %)
小売業 (同 10人未満)	2,450 企業	1,764 企業	(同 24.6 %)
飲食店・宿泊業 (同 10人未満)	1,800 企業	1,248 企業	(同 17.4 %)
サービス業 (同 20人未満)	2,000 企業	1,439 企業	(同 20.1 %)
情報通信業 (同 20人未満)	160 企業	107 企業	(同 1.5 %)
建設業 (同 20人未満)	1,100 企業	756 企業	(同 10.5 %)
運輸業 (同 20人未満)	190 企業	133 企業	(同 1.9 %)

(参考)

個人	2,705 企業	(構成比 37.7 %)
法人	4,468 企業	(同 62.3 %)

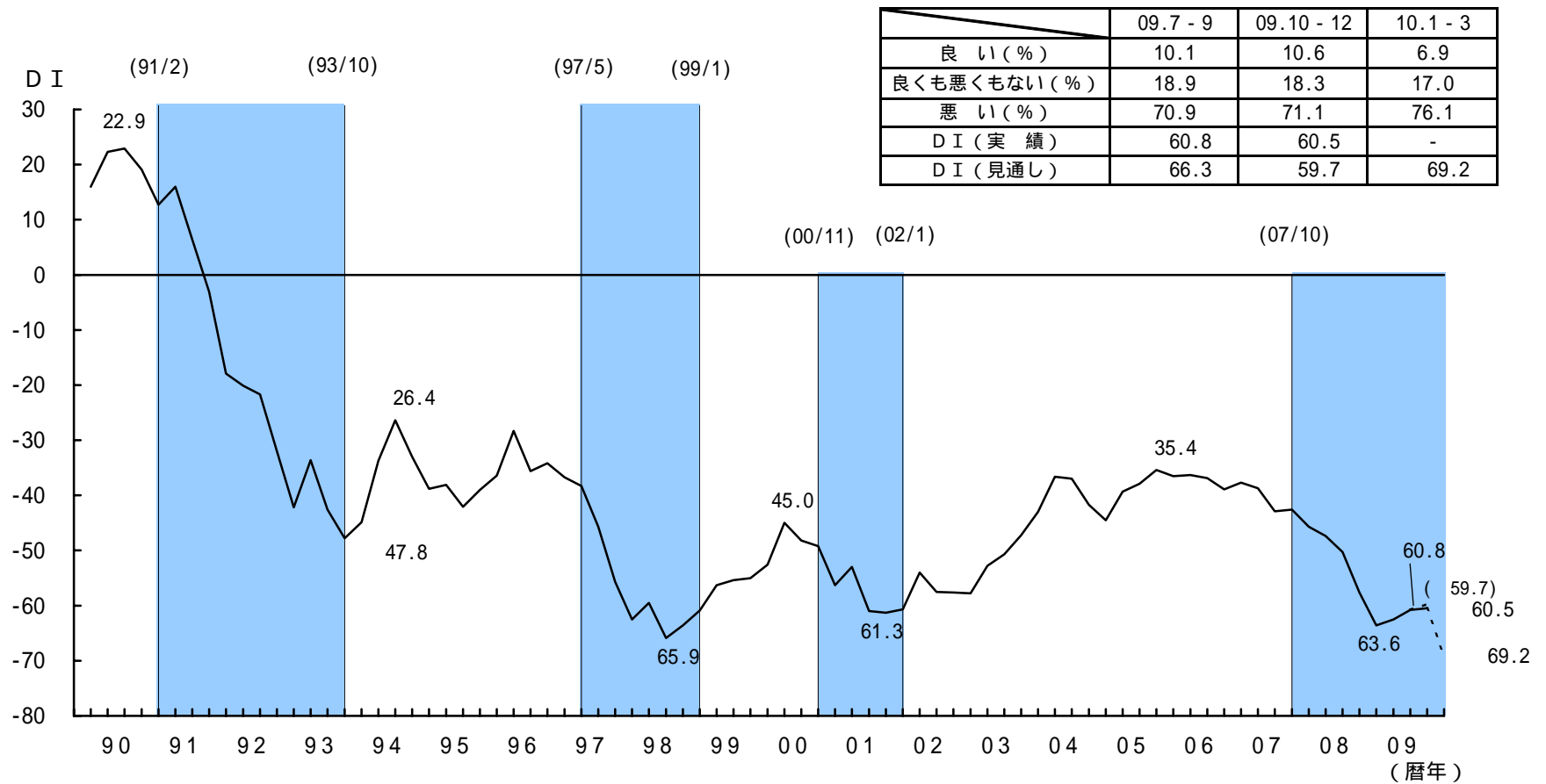
1 業況判断

今期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査（2009年7 - 9月期）に比べて0.3ポイント上昇し、60.5となった。上昇は3期連続だが、来期は再び低下し69.2となる見通しである。小企業の景況は、持ち直しの動きがみられるが、いまだ低迷している。

業種別にみると、製造業や建設業、運輸業などで上昇した一方で、小売業や飲食店・宿泊業などの消費関連業種が低下するなど、強弱の混在した状況となっている。

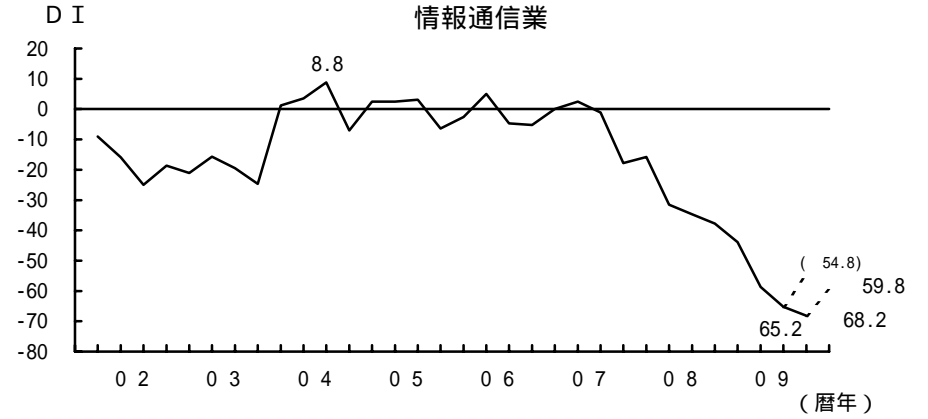
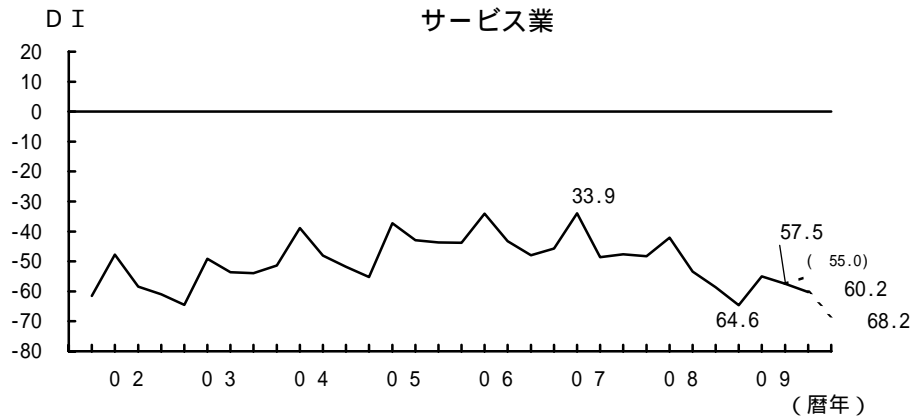
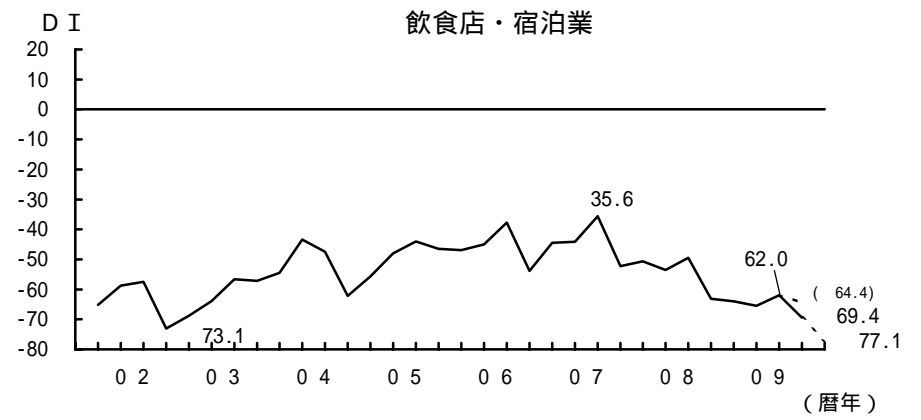
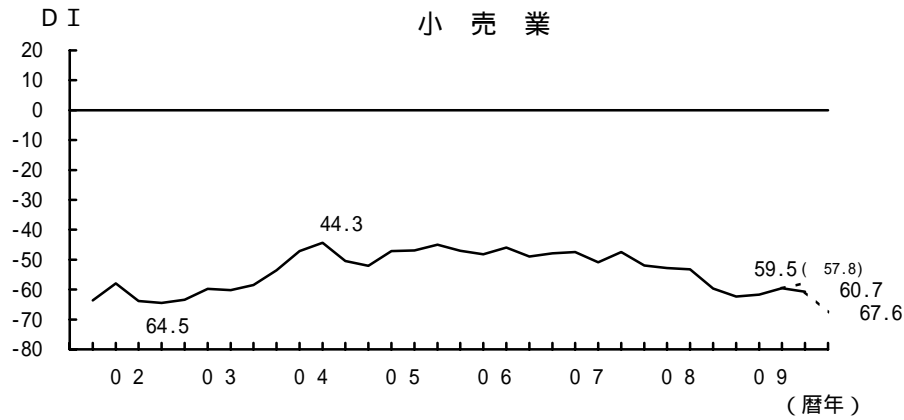
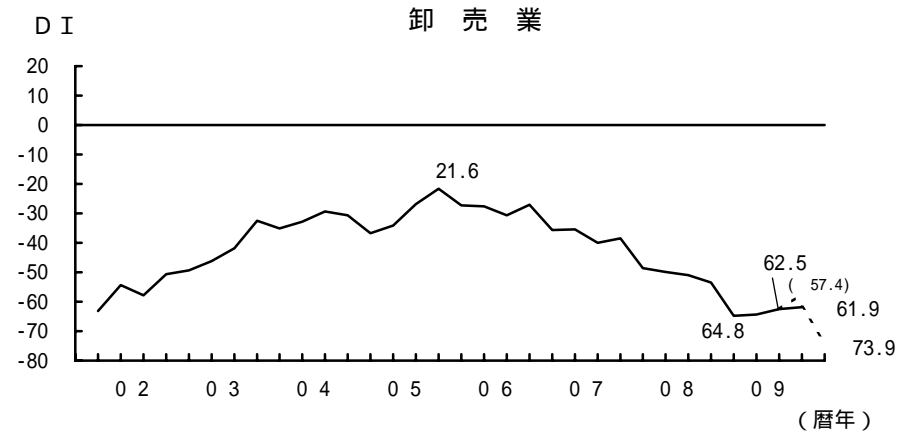
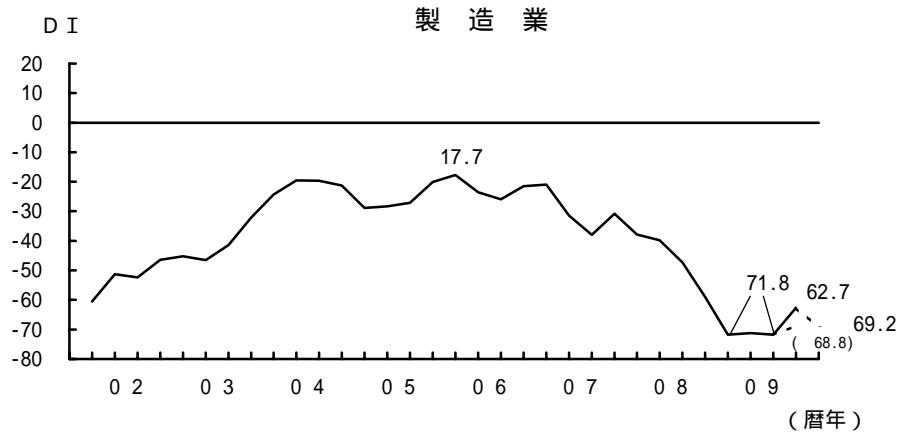
地域別にみると、大都市圏、地方圏ともに上昇した。ただし、大都市圏は地方圏に比べて小幅な上昇にとどまっており、依然として地方圏を下回る状況が続いている。

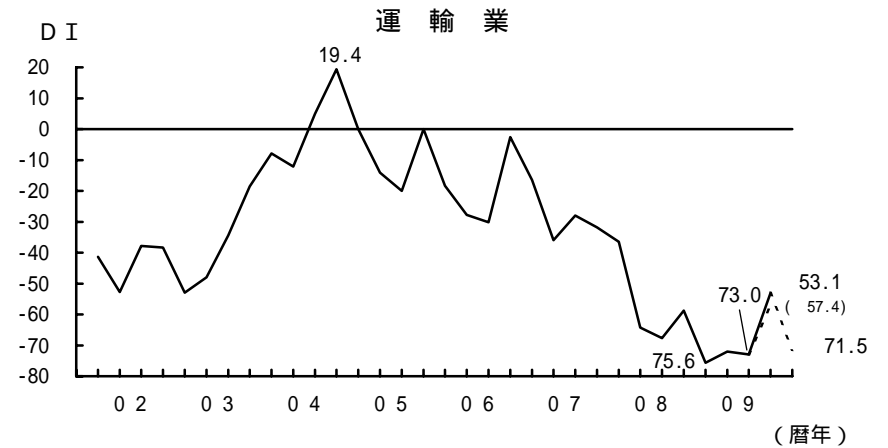
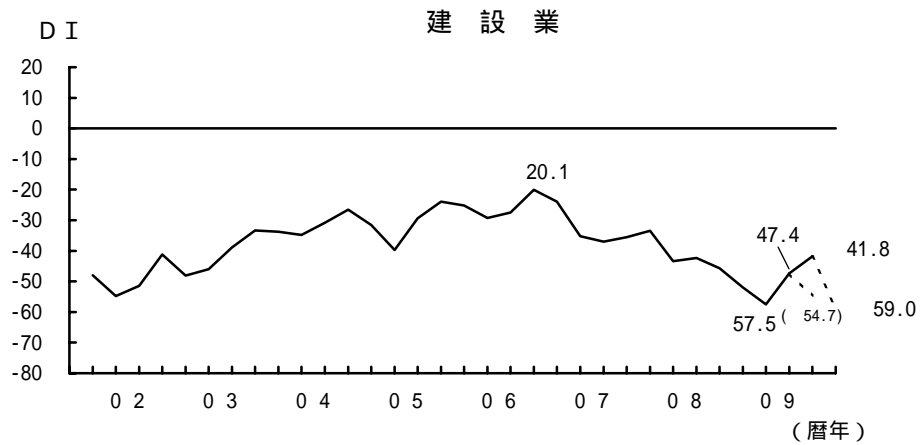
図 - 1 - 1 業況判断D Iの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し、()内は前回調査時点における当期の見通し。

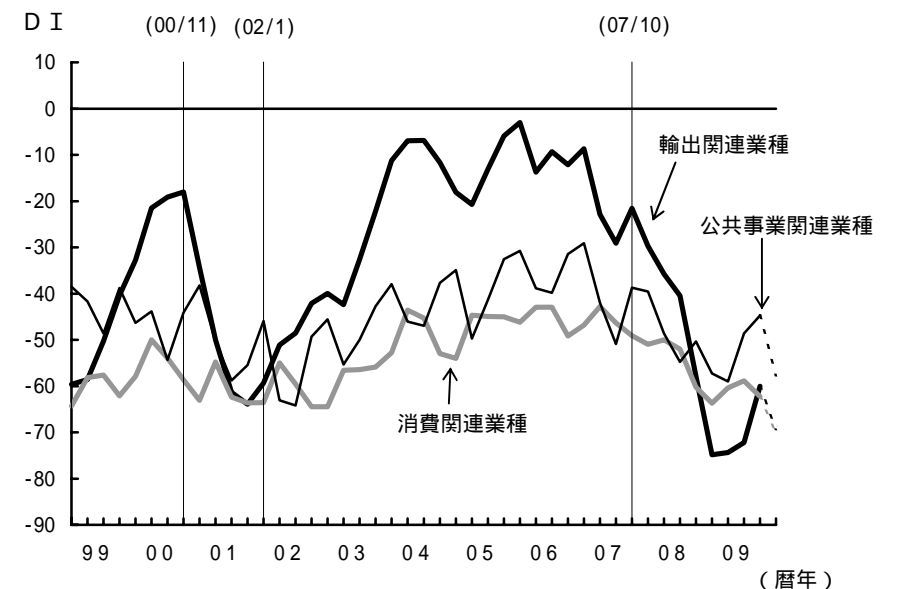
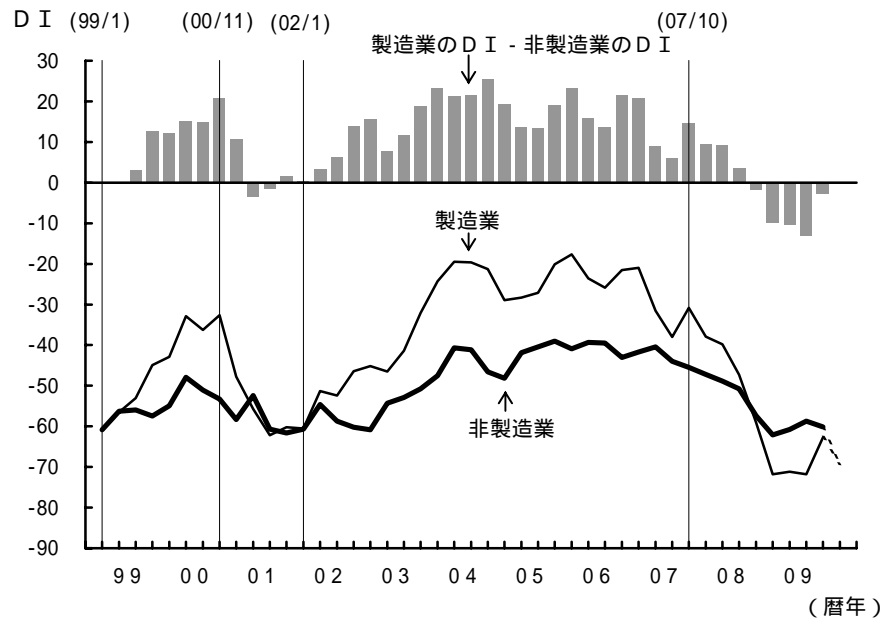
図 - 1 - 2 業種別業況判断D Iの推移





(参考1) 製造業と非製造業の業況判断D Iの比較

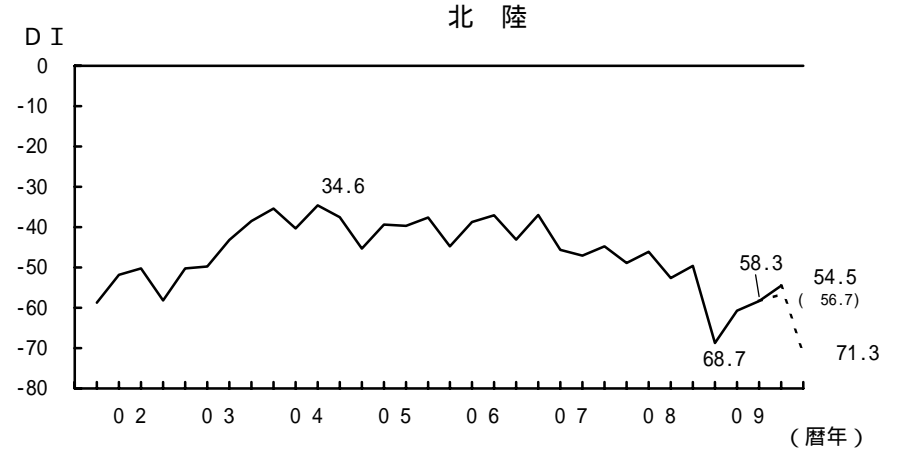
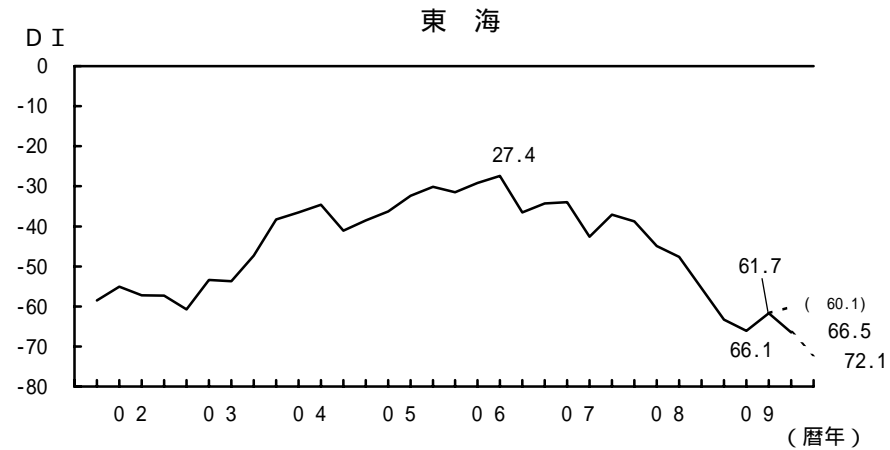
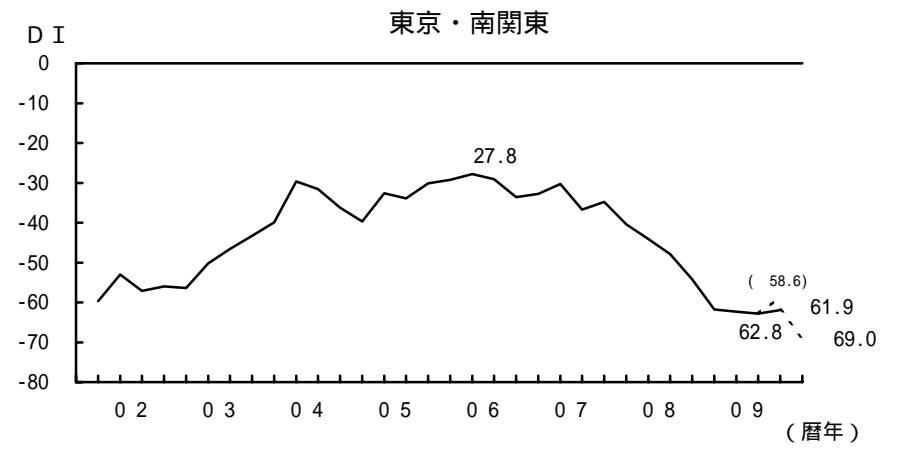
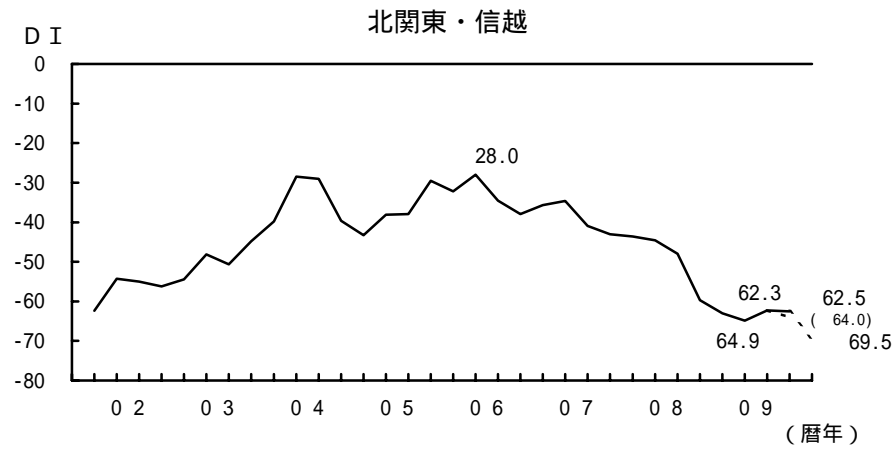
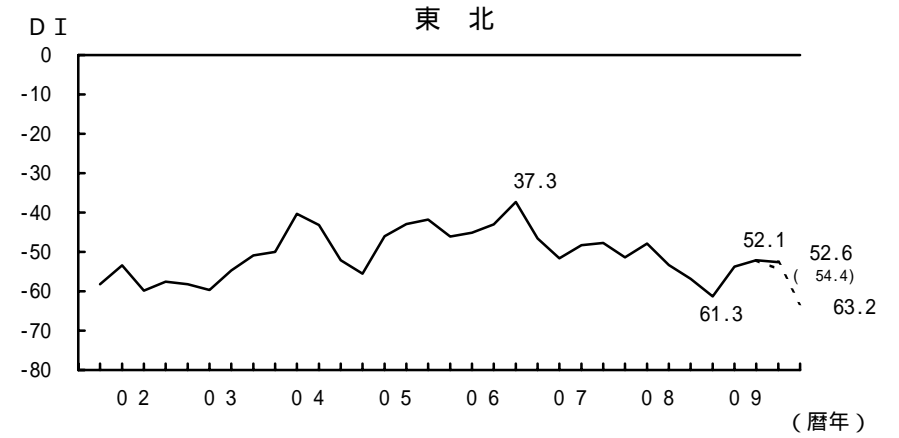
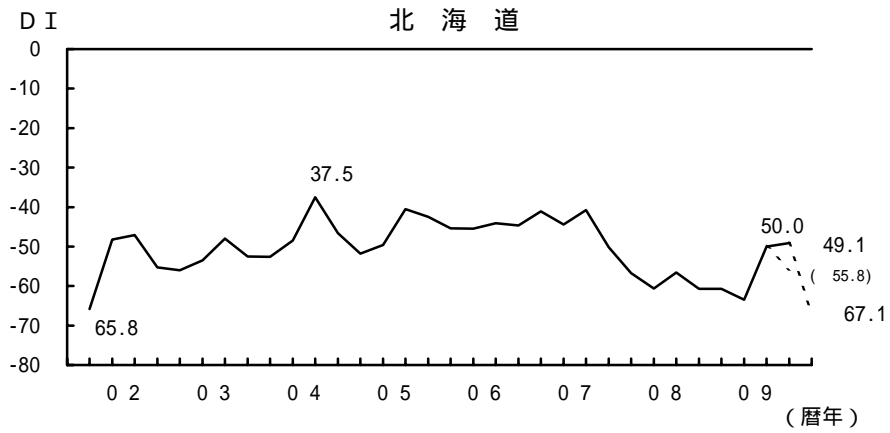
(参考2) 輸出関連業種、消費関連業種、公共事業関連業種の業況判断D Iの比較

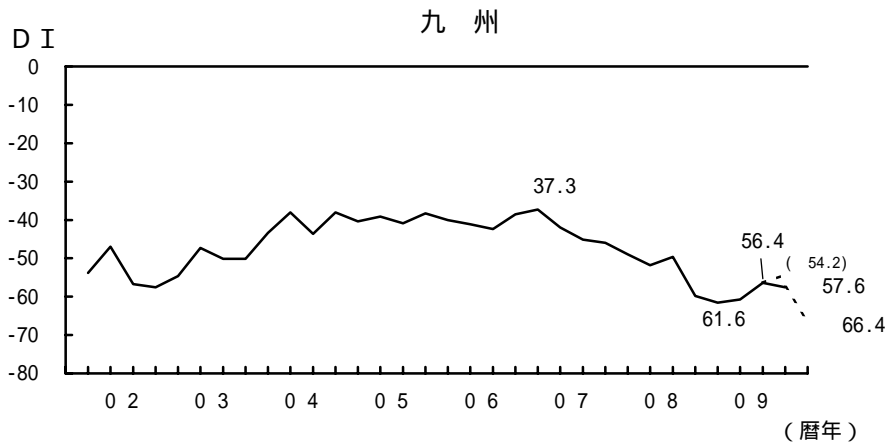
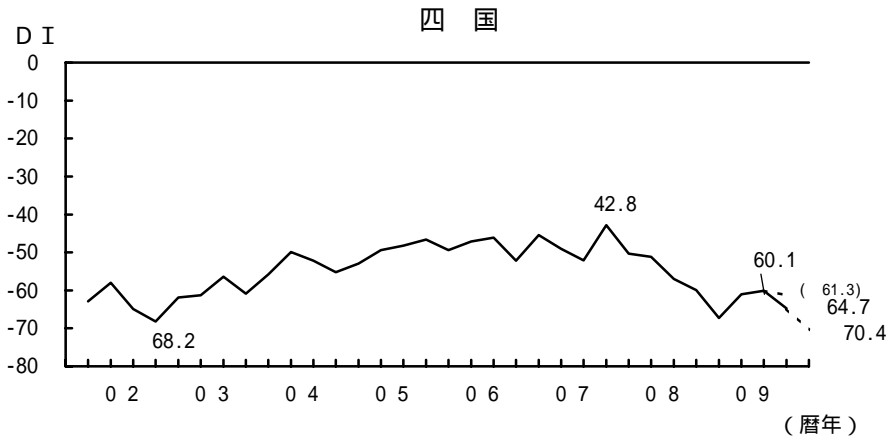
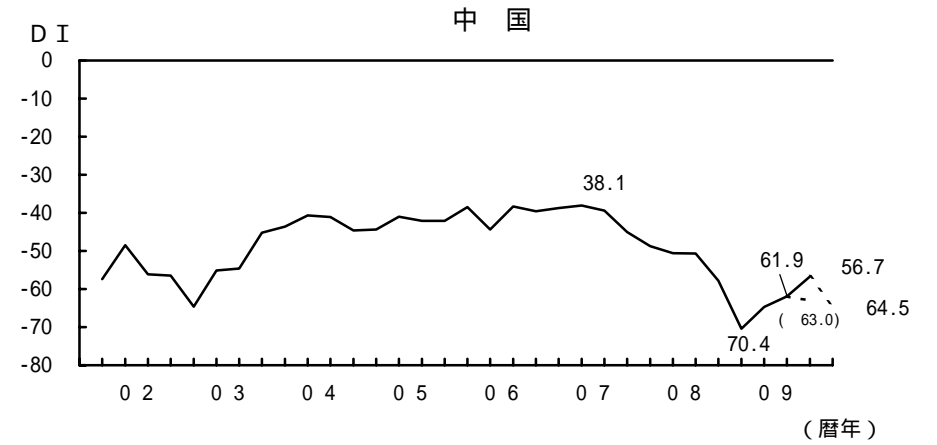
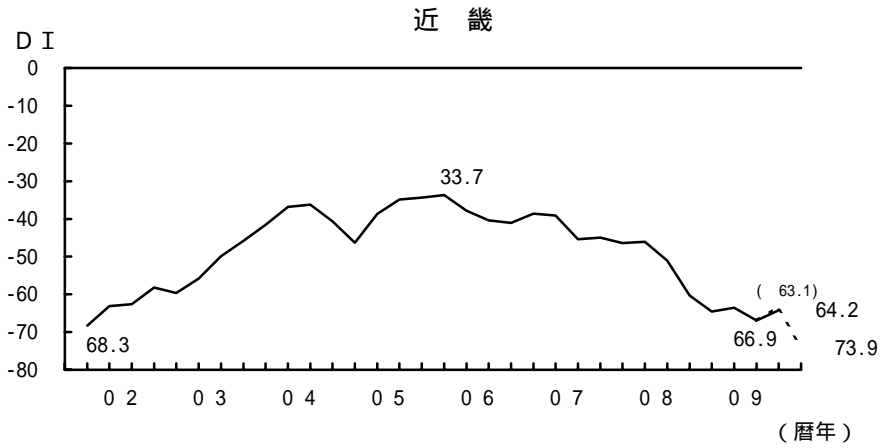


(注) 2010年1-3月期見通しでは、製造業と非製造業のD Iが同水準であるため、差のグラフは表示されていない。

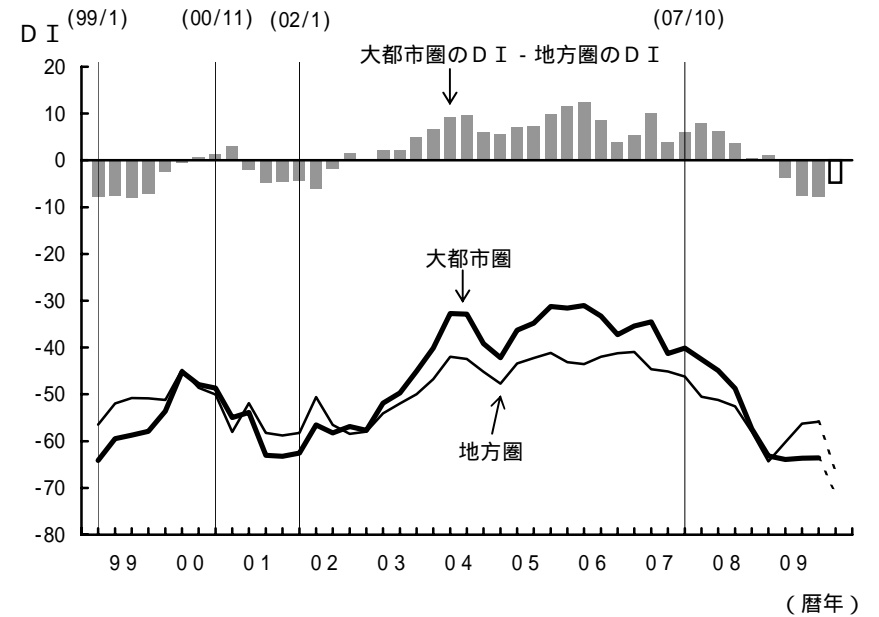
- (注) 1 輸出関連業種は、窯業・土石製品、金属製品、一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具、精密機械器具、プラスチック・ゴム製品の各製造業、機械器具卸売業、機械修理業。
 2 消費関連業種は、小売業、飲食店・宿泊業、個人向けサービス業、建築工事業、道路旅客運送業。
 3 公共事業関連業種は、建築設計業、土木工事業。

図 - 1 - 3 地域別業況判断D Iの推移





(参考) 大都市圏と地方圏の業況判断DIの比較



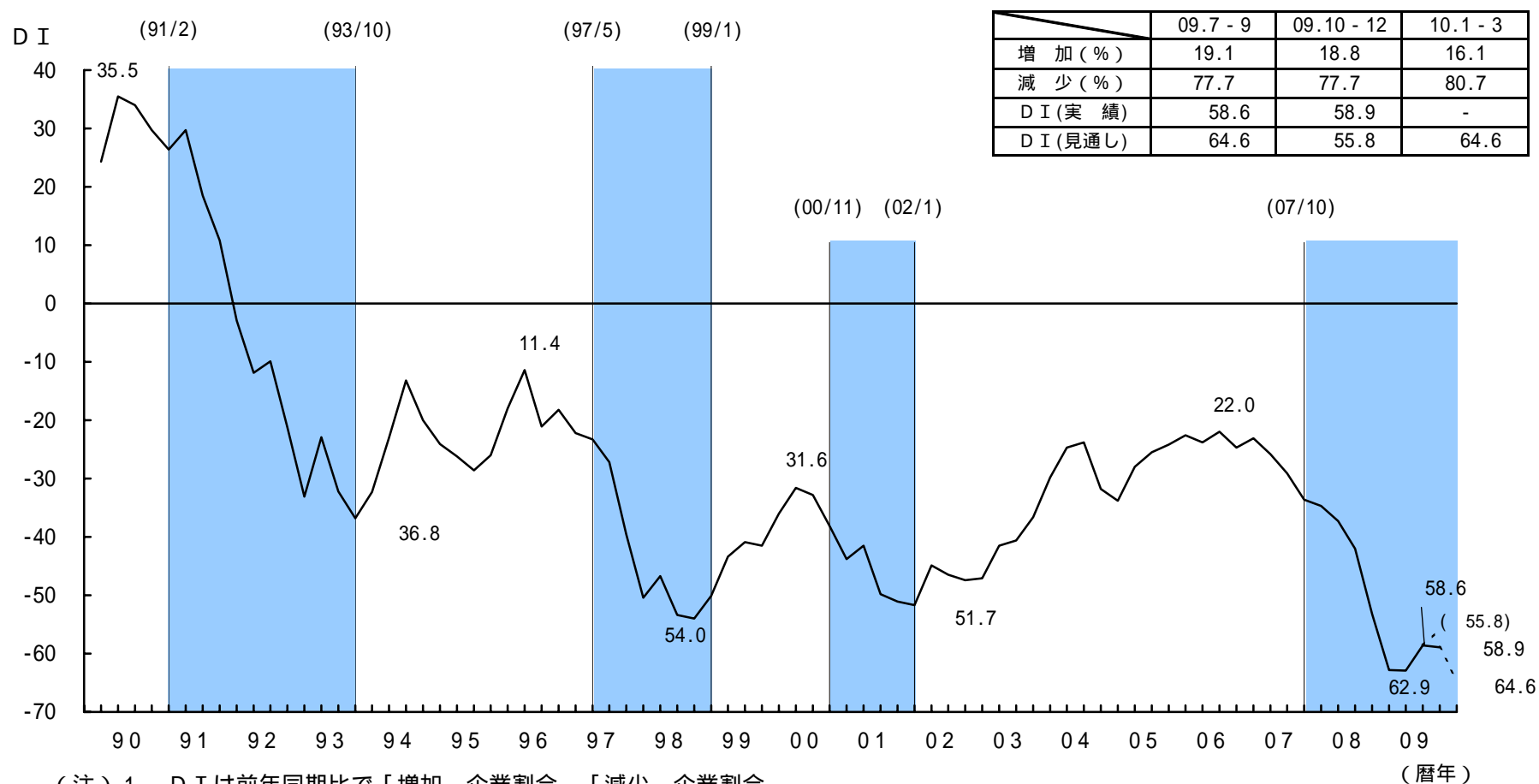
- (注) 1 大都市圏は、北関東・信越、東京・南関東、東海、近畿。
 2 地方圏は、北海道、東北、北陸、中国、四国、九州。
 3 大都市圏と地方圏の差の白抜き部分は見直し。

2 売上

売上D I(全業種計)は、前回調査に比べて0.3ポイント低下し、 58.9となった。低下は2期ぶりである。依然として、過去の景気の谷を下回る水準が続いている。

来期については、5.7ポイント低下する見通しとなっている。

図 - 2 売上D Iの推移(全業種計)

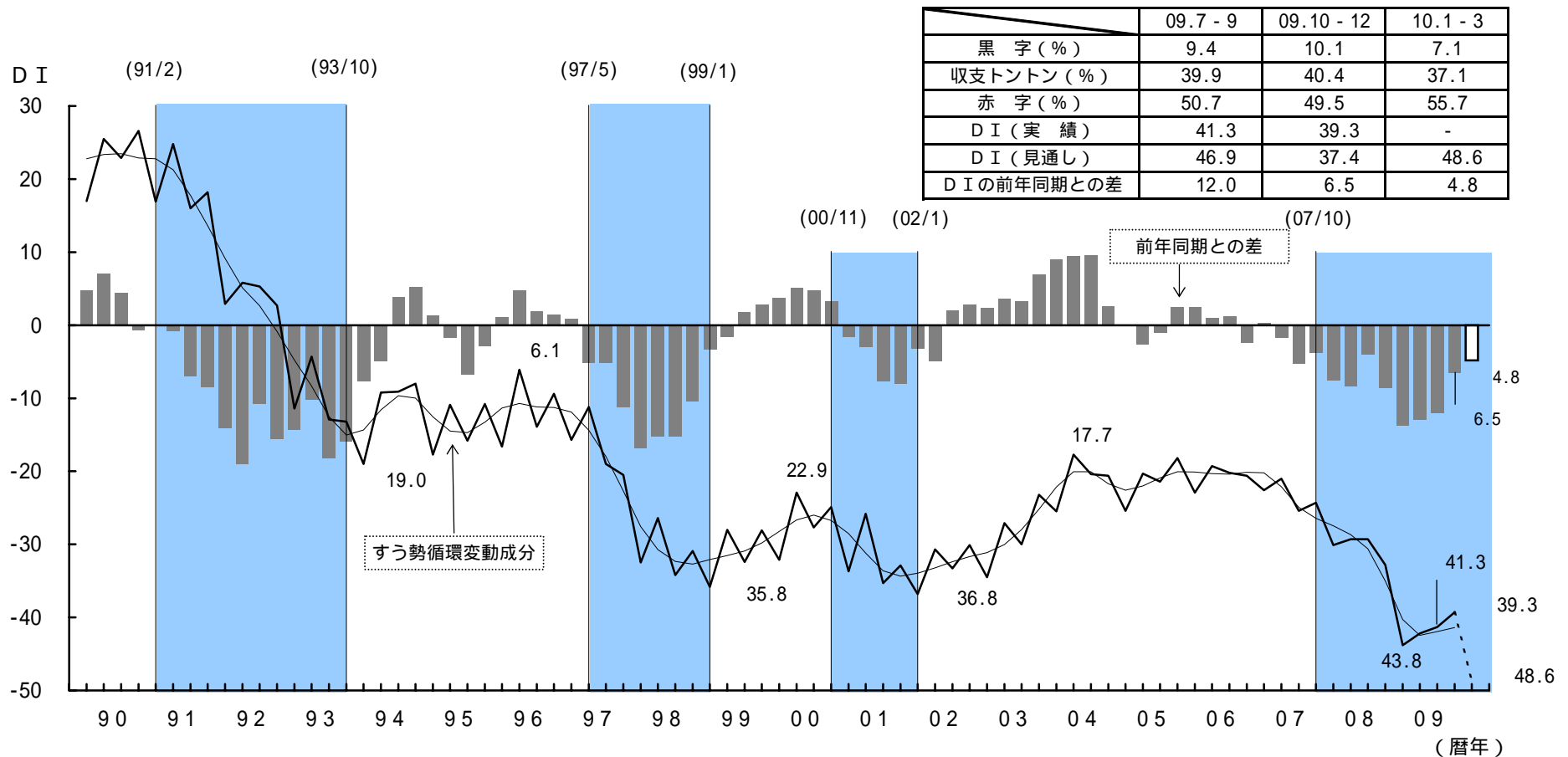


3 採算

採算D I (全業種計)は、前回調査に比べて2.0ポイント上昇し、39.3となった。ただし、11期連続で前年同期の水準を下回っている。売上の低迷により、収益は依然として低い水準にとどまっている。

来期については、9.3ポイント低下し、前年同期の水準を下回る見通しとなっている。

図 - 3 採算D Iの推移 (全業種計)



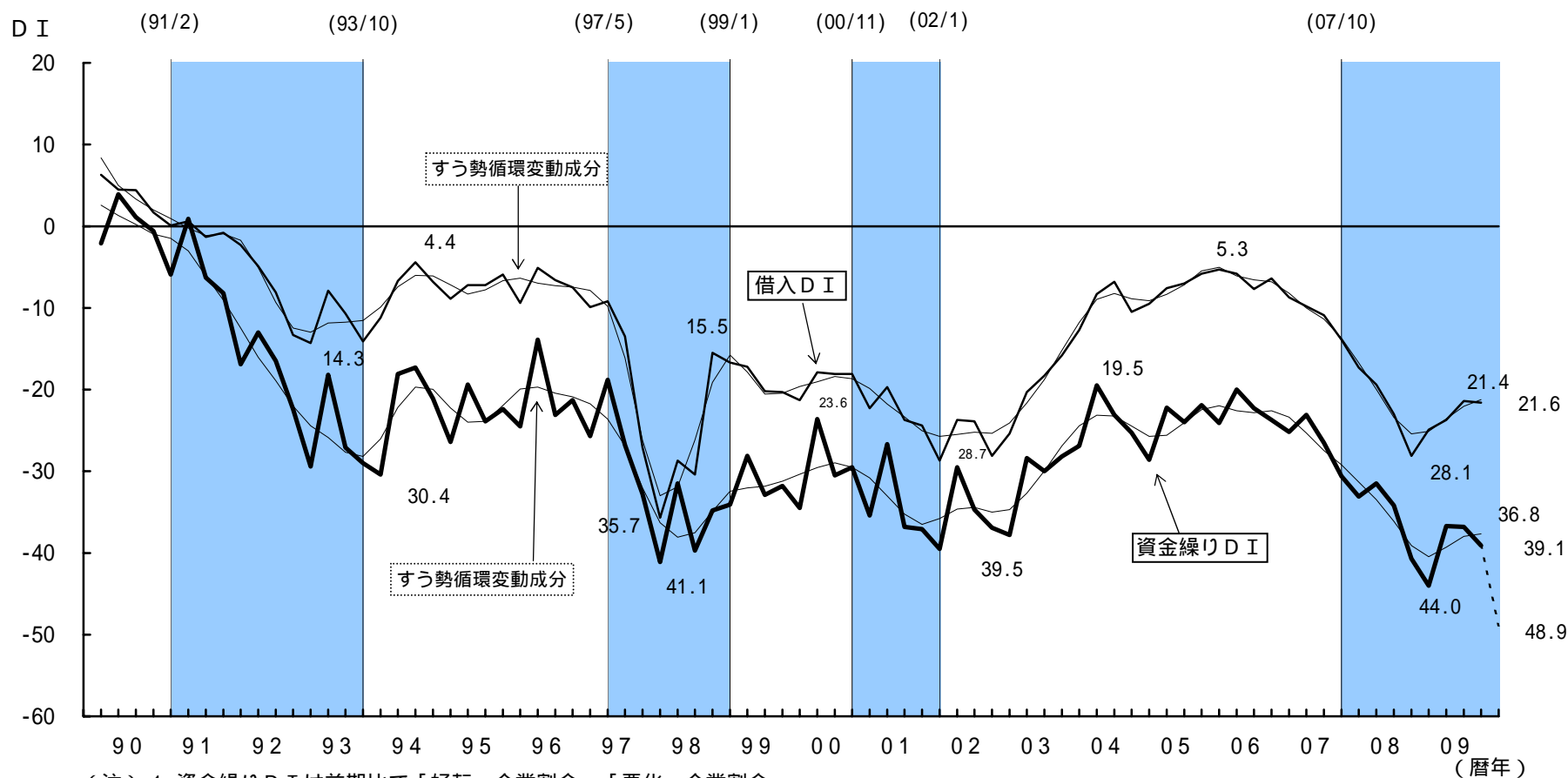
- (注) 1 DIは「黒字」企業割合 - 「赤字」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

今期の資金繰りD I (全業種計)は、2.3ポイント低下し、 39.1となった。低下は2期連続である。来期については、9.8ポイント低下する見通しとなっている。

民間金融機関からの借入状況(全業種計)をみると、借入D Iは0.2ポイント低下し、 21.6となった。低下は4期ぶりである。

図 - 4 資金繰りD I、借入D Iの推移 (全業種計)

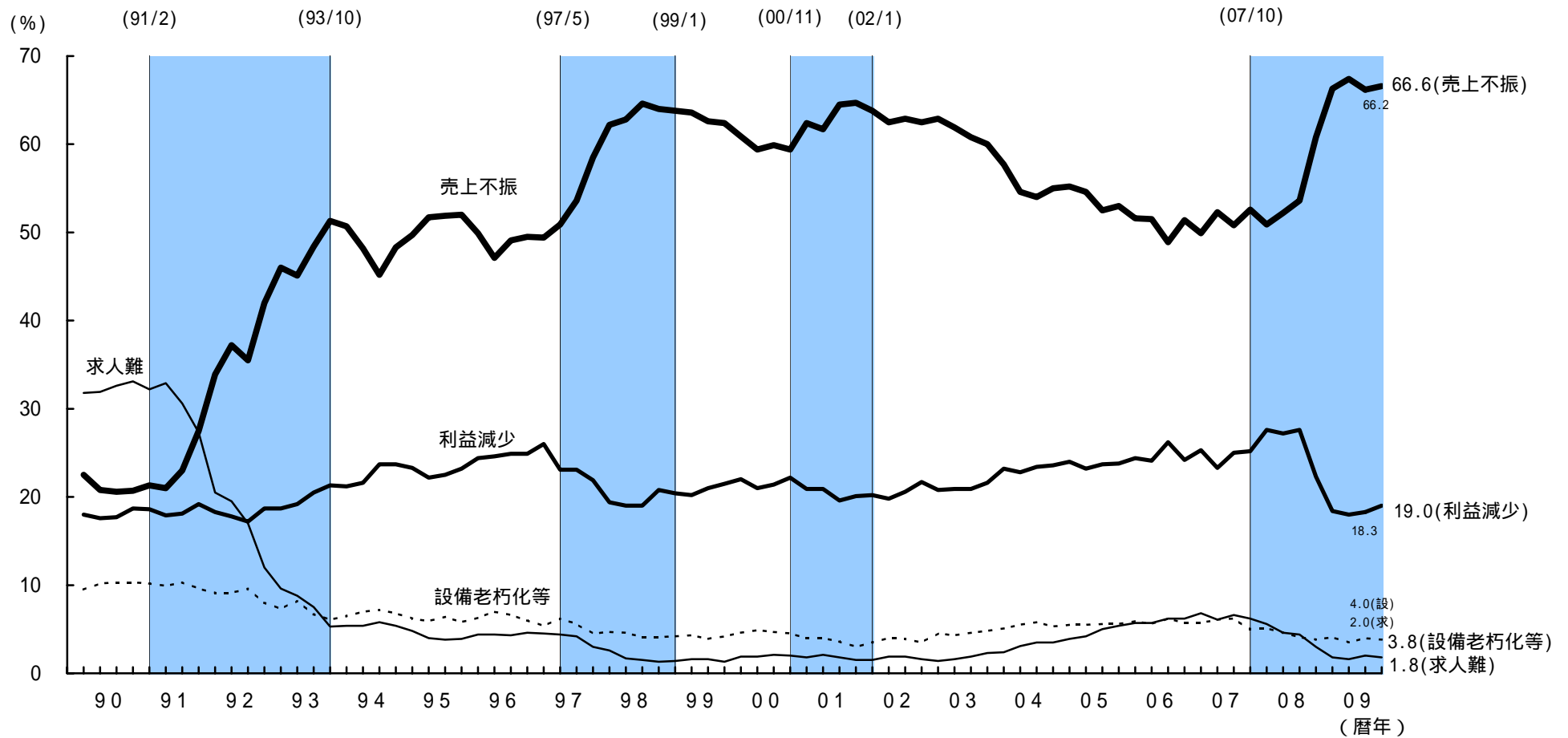


- (注) 1 資金繰りD Iは前期比で「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合。
 2 借入D Iは前期比で「容易になった」企業割合 - 「難しくなった」企業割合。
 3 ——— は実績、----- は見通し。

5 経営上の問題点

当面の経営上の問題点(全業種計)をみると、依然として「売上不振」が第1位で、以下、「利益減少」「設備老朽化等」「求人難」の順となっている。「売上不振」の割合は2期ぶりに上昇した。

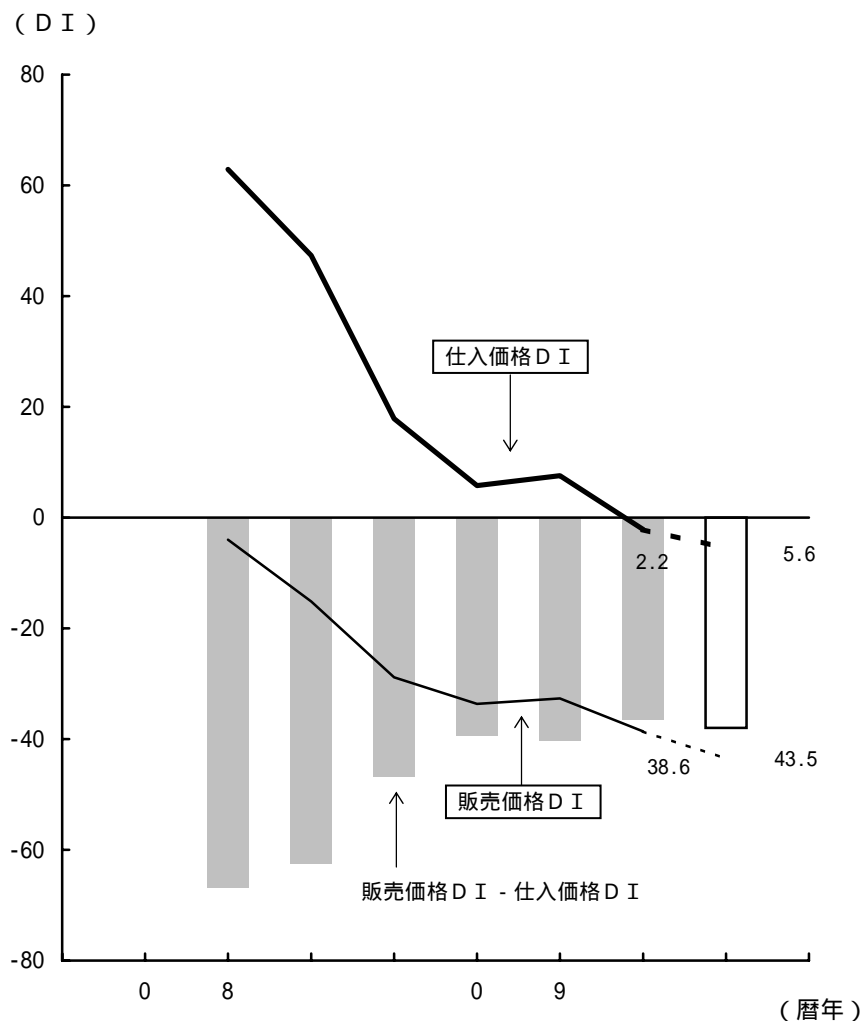
図 - 5 経営上の問題点の推移(全業種計、上位4項目)



(注) 経営上の問題点(上位4項目)とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したもの。

< 参考 > 販売価格、仕入価格

図 販売価格D I、仕入価格D Iの推移（全業種計）



- (注) 1 D Iは前年同期比で「上昇」企業割合 - 「低下」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し。
 3 白抜き部分は見通し。
 4 2008年7-9月期から調査を実施。

表 - 1 販売価格D I

業種	年/月					
	2008/ 10 - 12	2009/ 1 - 3	4 - 6	7 - 9	10 - 12	2010/ 1 - 3 (見通し)
全業種計	15.1	28.9	33.6	32.7	38.6	43.5
製造業	15.6	34.5	37.8	39.9	41.8	45.6
卸売業	5.8	21.1	29.5	32.0	39.8	44.8
小売業	7.4	20.8	28.8	29.4	41.5	44.3
飲食店・宿泊業	11.7	23.2	28.1	24.6	32.6	37.8
サービス業	26.2	34.0	35.1	33.2	35.5	41.0
情報通信業（情報サービス）	25.9	37.1	39.4	52.6	51.9	51.9
建設業	34.2	43.7	44.9	38.2	38.3	49.8
運輸業	32.6	47.3	53.6	40.8	45.3	50.9
非製造業	15.0	27.8	32.8	31.3	38.0	43.1

表 - 2 仕入価格D I

業種	年/月					
	2008/ 10 - 12	2009/ 1 - 3	4 - 6	7 - 9	10 - 12	2010/ 1 - 3 (見通し)
全業種計	47.4	17.8	5.8	7.6	2.2	5.6
製造業	54.4	16.3	0.8	5.7	0.9	1.3
卸売業	50.1	12.7	1.6	1.5	6.9	11.4
小売業	32.9	9.8	0.6	0.2	11.4	14.7
飲食店・宿泊業	72.8	40.8	20.4	23.0	3.7	1.7
サービス業	35.8	12.6	7.5	8.6	1.4	1.5
情報通信業（情報サービス）	14.4	4.3	8.7	9.7	15.8	14.9
建設業	55.4	22.0	8.7	8.9	4.0	0.9
運輸業	40.6	17.4	4.2	10.3	1.8	11.0
非製造業	46.0	18.1	6.8	7.9	2.7	6.4

中 小 企 業 編

(2009年10－12月期実績、2010年1－3月期および4－6月期見通し)

中小企業の景況は、
一部に持ち直しの動きがみられるものの、
持ち直しの勢いは緩やかなものにとどまっている

[概況]

- 今期の業況判断D Iは、マイナス幅は3期連続で縮小しているものの、▲39.2と低い水準にとどまっている。
- 売上げD Iは、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、▲48.8と非常に低い水準にとどまっている。
- 純益率D Iは、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、▲31.7と低い水準にとどまっている。
- 販売価格D Iは、大幅なマイナスが続いている。
- 仕入価格D Iは、マイナスが続いている。
- 借入難易D Iは、短期、長期ともにマイナス幅がやや縮小している。
- 設備投資実施企業割合は、20%近傍の極めて低い水準が続いている。

[調査の実施要領]

調査時点	2009年12月中・下旬
調査対象	当公庫取引先(原則従業員20人以上) 12,709 社
有効回答数	5,677 社 [回答率 44.7 %]

<業種構成>

	調査対象	有効回答数	
製造業	5,507 社	2,645 社	(構成比 46.6 %)
鉱業	31 社	14 社	(同 0.2 %)
建設業	857 社	384 社	(同 6.8 %)
運送業(除水運)	596 社	279 社	(同 4.9 %)
水運業	179 社	87 社	(同 1.5 %)
倉庫業	102 社	47 社	(同 0.8 %)
情報通信業	183 社	78 社	(同 1.4 %)
ガス供給業	26 社	14 社	(同 0.2 %)
不動産業	1,122 社	422 社	(同 7.4 %)
飲食宿泊業	458 社	185 社	(同 3.3 %)
卸売業	1,545 社	681 社	(同 12.0 %)
小売業	888 社	357 社	(同 6.3 %)
サービス業	1,215 社	484 社	(同 8.5 %)
(参考)			
資本金	100 万円 未 満	81 社	(構成比 1.4 %)
同	100 ~ 500 万円 未 満	231 社	(同 4.1 %)
同	500 ~ 1,000 万円 未 満	161 社	(同 2.8 %)
同	1,000 ~ 5,000 万円 未 満	3,860 社	(同 68.0 %)
同	5,000 ~ 1 億円 未 満	1,020 社	(同 18.0 %)
同	1 億円 以 上	324 社	(同 5.7 %)

【注：業種区分の変更について】

総務省「日本標準産業分類」の改定(2007年11月)に伴い、業種区分について、「一般機械」、「精密機械」を統合し、「はん用機械」、「生産用機械」、「業務用機械」に変更。製造業の業種数は「17」から「18」に増加している。

(変更前) 一般機械、精密機械

(変更後) はん用機械、生産用機械、業務用機械

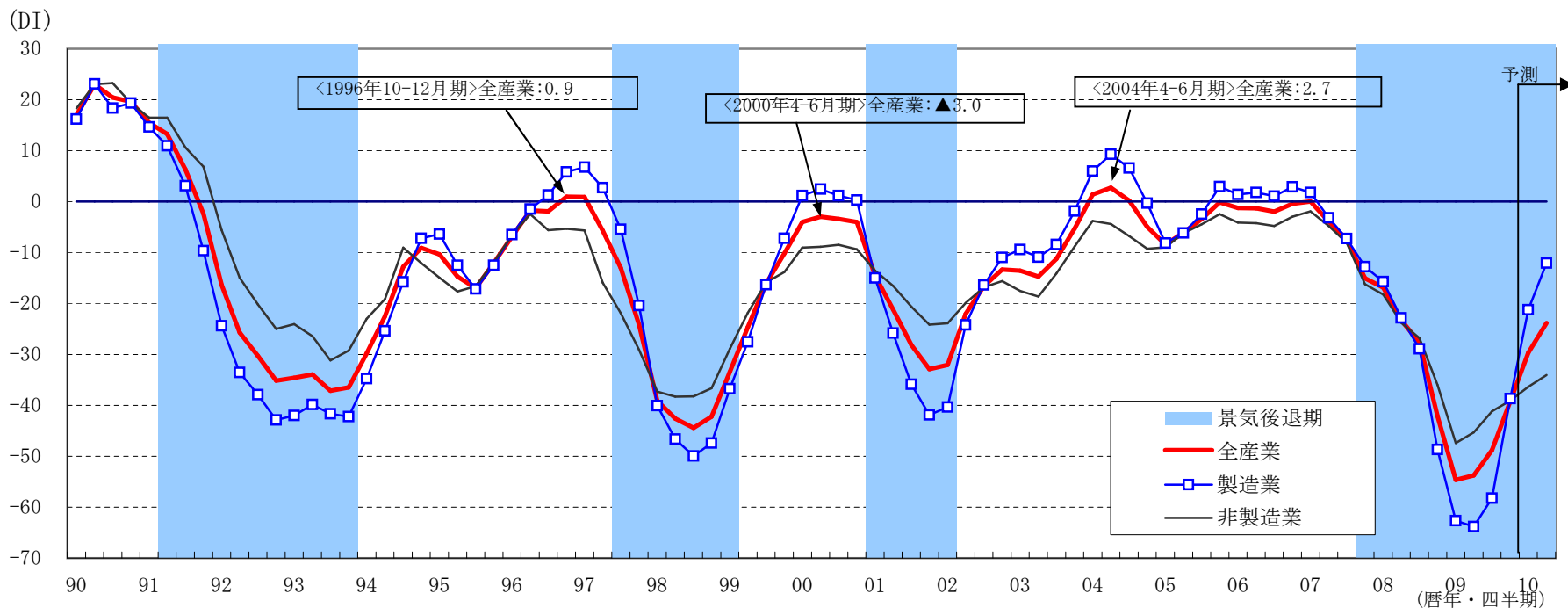
1 業況判断

- 業況判断D Iは、マイナス幅は3期連続で縮小しているものの、▲39.2と低い水準にとどまっている。
- 先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

図-1-1 業況判断D Iの推移（季節調整値） [2010年1～3月期、4～6月期は予測]

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	2009/10-12 (前回予想)		2010年1-3月、4-6月の見通し		
					2009/10-12 (前回予想)	2010/1-3 (前回予想)	2010/1-3 (前回予想)	4-6	
業況判断DI (季節調整値)	▲ 42.1	▲ 54.6	▲ 53.7	▲ 48.8	▲ 39.2	(▲ 43.1)	▲ 29.7	(▲ 22.1)	▲ 23.8
製造業	▲ 48.7	▲ 62.7	▲ 63.8	▲ 58.2	▲ 38.7	(▲ 47.9)	▲ 21.2	(▲ 15.9)	▲ 12.1
非製造業	▲ 36.0	▲ 47.4	▲ 45.3	▲ 41.2	▲ 39.1	(▲ 39.4)	▲ 36.4	(▲ 27.3)	▲ 34.0
同上 (原数値)	▲ 40.1	▲ 56.7	▲ 53.7	▲ 48.8	▲ 37.2	(▲ 42.1)	▲ 30.5	(▲ 23.2)	▲ 24.9
製造業	▲ 46.4	▲ 64.7	▲ 64.2	▲ 58.1	▲ 36.4	(▲ 47.2)	▲ 21.2	(▲ 16.9)	▲ 13.1
非製造業	▲ 34.8	▲ 49.4	▲ 44.8	▲ 40.9	▲ 37.9	(▲ 37.8)	▲ 38.4	(▲ 28.6)	▲ 35.2

(注) 前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合

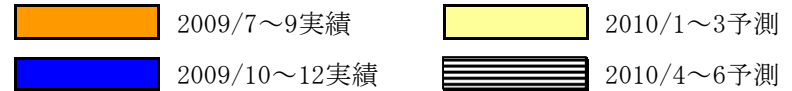


○ 業種別業況判断D I

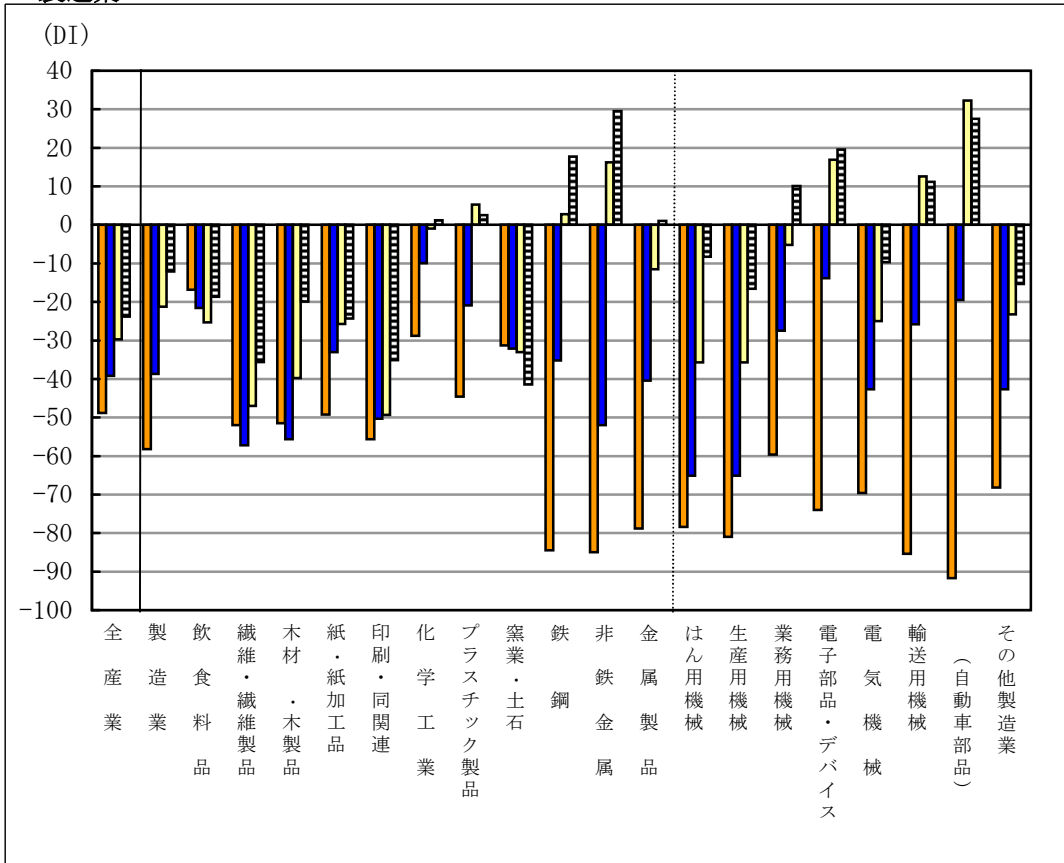
- ・自動車部品、電子部品・デバイスなどで、マイナス幅が大幅に縮小している。
一方、小売業、サービス業、飲食宿泊業などでは、マイナス幅が拡大している。
- ・先行きについては、自動車部品、電子部品・デバイス、非鉄金属などでプラスに転じる見通しとなっている。
一方、建設業、窯業・土石では、マイナス幅がさらに拡大する見通しとなっている。

図－１－２ 業種別業況判断D Iの推移（季節調整値）

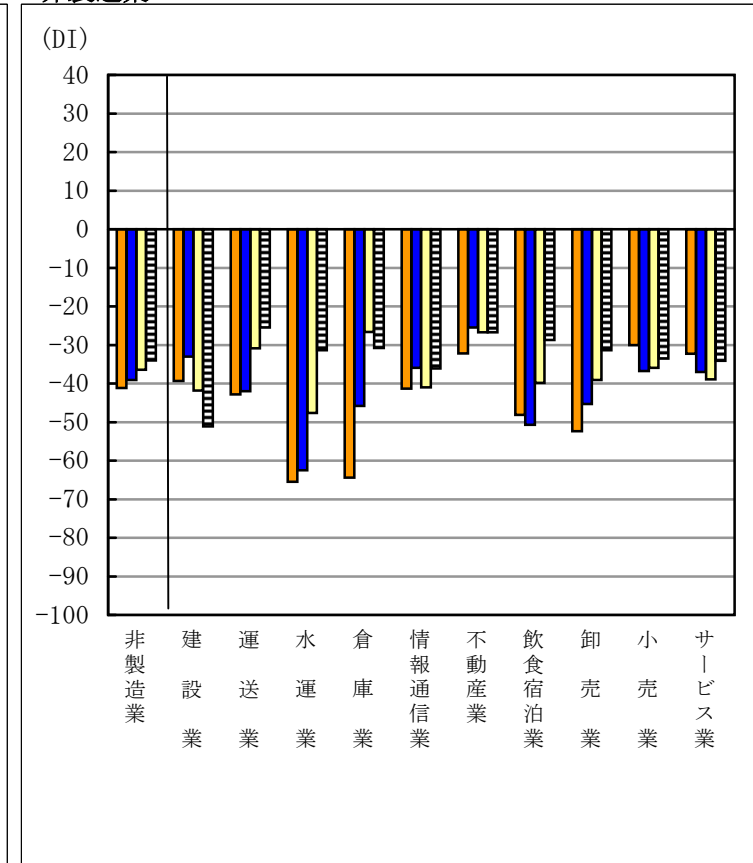
※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



－製造業－



－非製造業－

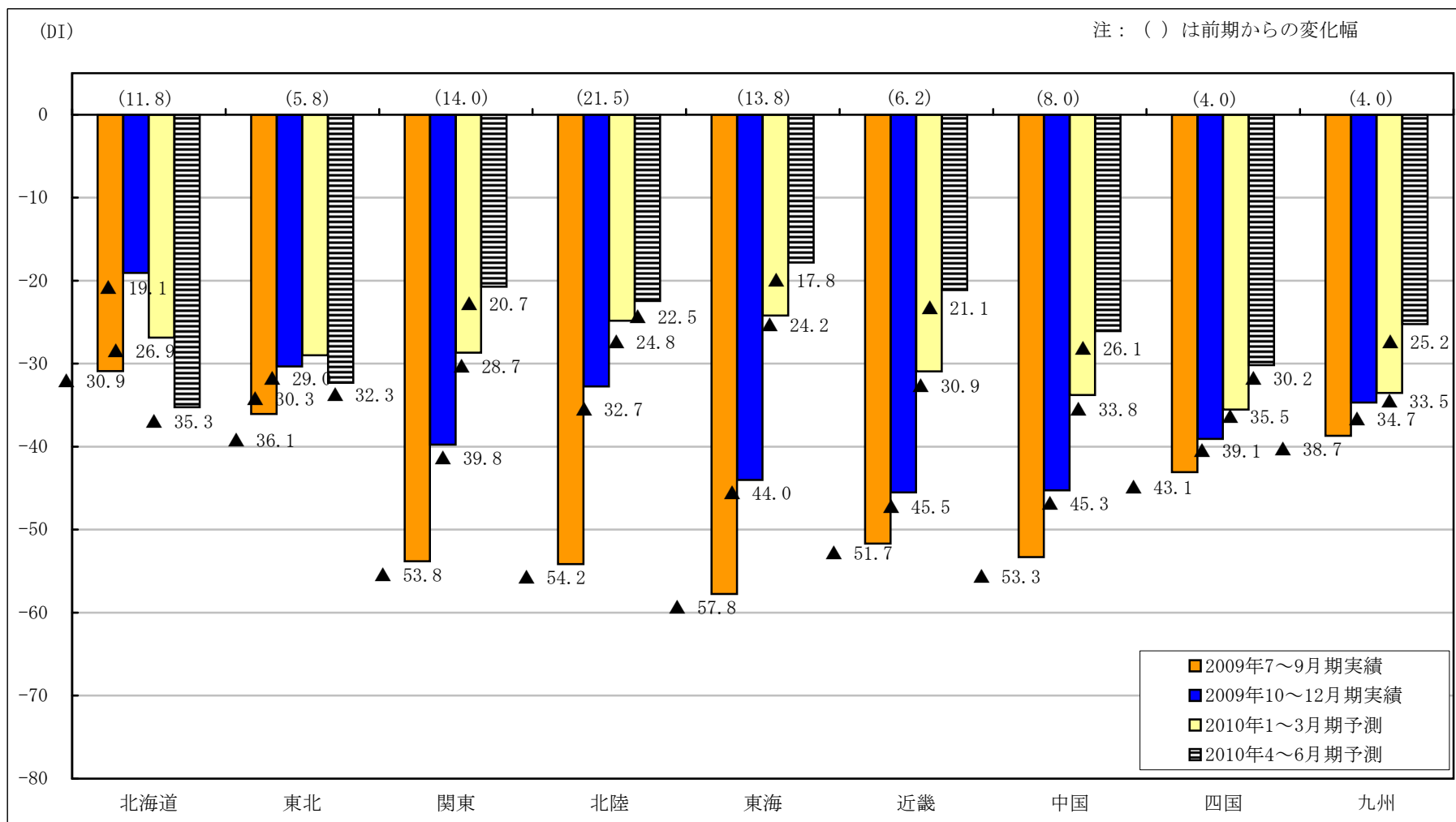


○ 地域別業況判断D I

- ・全ての地域でマイナス幅が縮小しているものの、依然として比較的大きなマイナスが続いている。
- ・先行きについては、東海、関東などでマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 一方、北海道、東北では、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－１－３ 地域別業況判断D I（季節調整値）

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



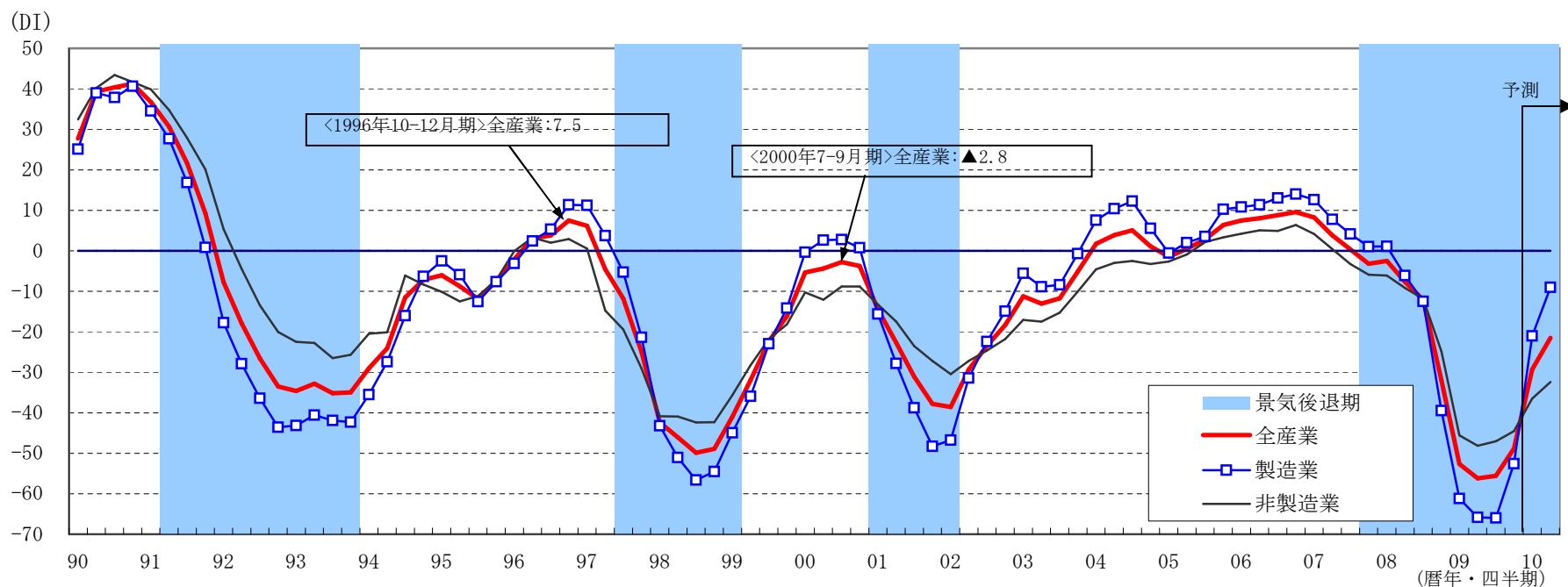
2 売上げ

- 売上げDIは、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、▲48.8と非常に低い水準にとどまっている。
- 先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

図－2－1 売上げDIの推移（季節調整値） [2010年1～3月期、4～6月期は予測]

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	2009/10-12 (前回予想)		2010年1-3月、4-6月の見通し		
					2009/10-12 (前回予想)	2010/1-3 (前回予想)	2010/1-3 (前回予想)	4-6	
売上げDI(季節調整値)	▲32.0	▲52.6	▲56.2	▲55.6	▲48.8	(▲48.2)	▲29.3	(▲23.7)	▲21.5
製造業	▲39.5	▲61.2	▲65.9	▲66.0	▲52.6	(▲54.8)	▲21.1	(▲18.4)	▲9.0
非製造業	▲24.8	▲45.6	▲48.2	▲47.0	▲44.5	(▲42.9)	▲36.5	(▲28.5)	▲32.4
同上(原数値)	▲30.1	▲55.6	▲55.8	▲54.9	▲46.9	(▲46.2)	▲31.0	(▲24.2)	▲23.0
製造業	▲37.0	▲63.7	▲66.3	▲65.4	▲50.1	(▲53.2)	▲22.2	(▲19.2)	▲10.4
非製造業	▲24.4	▲48.3	▲47.0	▲45.9	▲44.1	(▲40.2)	▲38.8	(▲28.6)	▲33.9

(注) 前年同期比、「増加」－「減少」企業割合



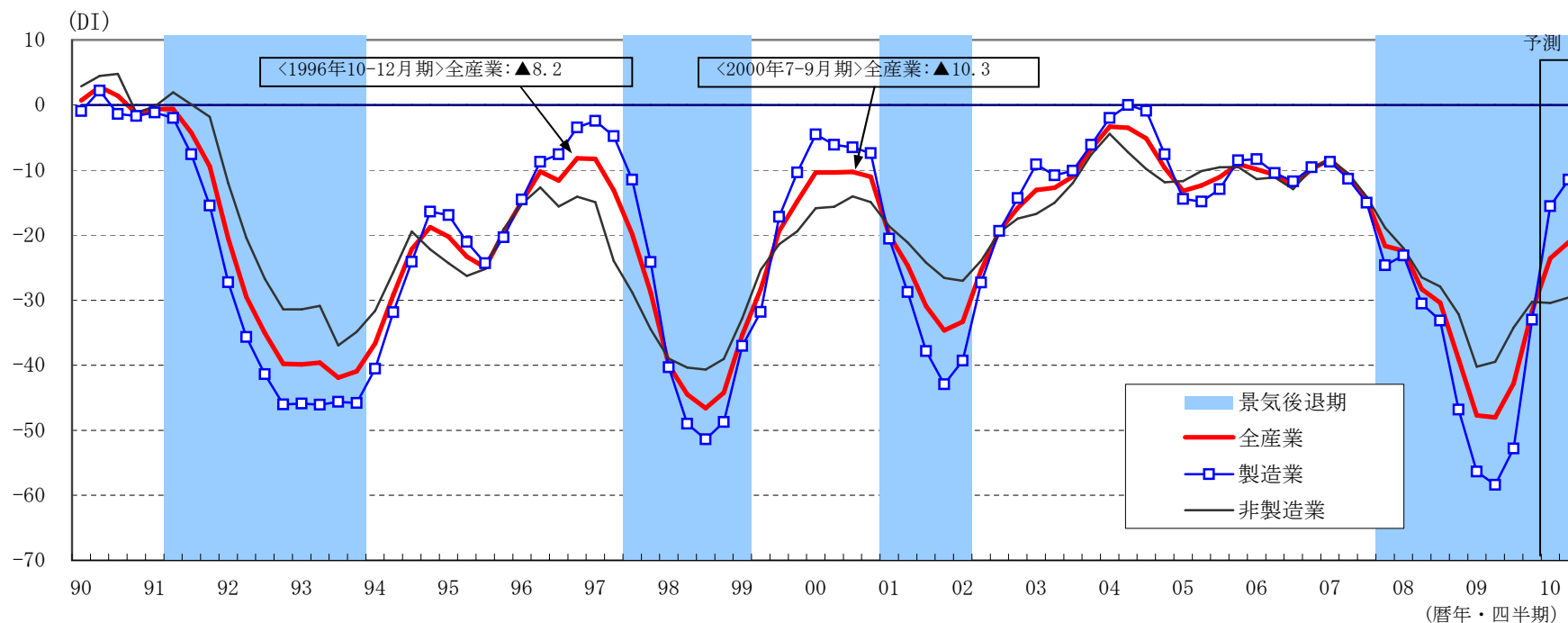
3 利益

- 純益率D Iは、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、▲31.7と低い水準にとどまっている。
- 先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

図-3-1 純益率D Iの推移（季節調整値） [2010年1～3月期、4～6月期は予測]

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	2009/10-12 (前回予想)	2010年1-3月、4-6月の見通し	
						2010/1-3 (前回予想)	4-6
純益率DI(季節調整値)	▲39.1	▲47.7	▲48.0	▲42.8	▲31.7 (▲39.2)	▲23.6 (▲23.5)	▲21.1
製造業	▲46.8	▲56.4	▲58.4	▲52.8	▲33.0 (▲46.0)	▲15.5 (▲21.3)	▲11.5
非製造業	▲32.2	▲40.2	▲39.5	▲34.2	▲30.3 (▲33.6)	▲30.5 (▲25.6)	▲29.6
同上(原数値)	▲37.4	▲49.5	▲47.3	▲43.4	▲30.0 (▲38.5)	▲24.4 (▲24.5)	▲22.0
製造業	▲44.0	▲58.5	▲58.3	▲53.6	▲30.2 (▲44.8)	▲16.3 (▲21.8)	▲11.9
非製造業	▲31.8	▲41.4	▲38.2	▲34.7	▲29.9 (▲33.2)	▲31.5 (▲26.9)	▲30.8

(注) 前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合



4 価格、金融関連

- 価格関連DI : 販売価格DIは、大幅なマイナスが続いている。
仕入価格DIは、マイナスが続いている。
- 金融関連DI : 資金繰りDIは、マイナス幅は3期連続で縮小しているものの、比較的大きなマイナスになっている。
借入難易DIは、短期、長期ともにマイナス幅がやや縮小している。

図-4-1 価格関連DIの推移(原数値)

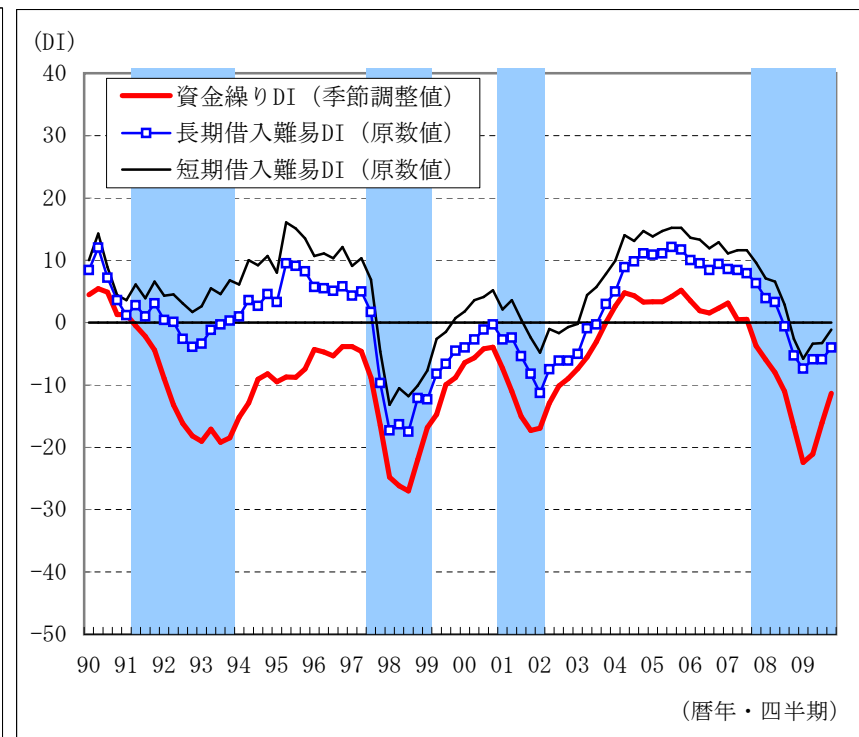
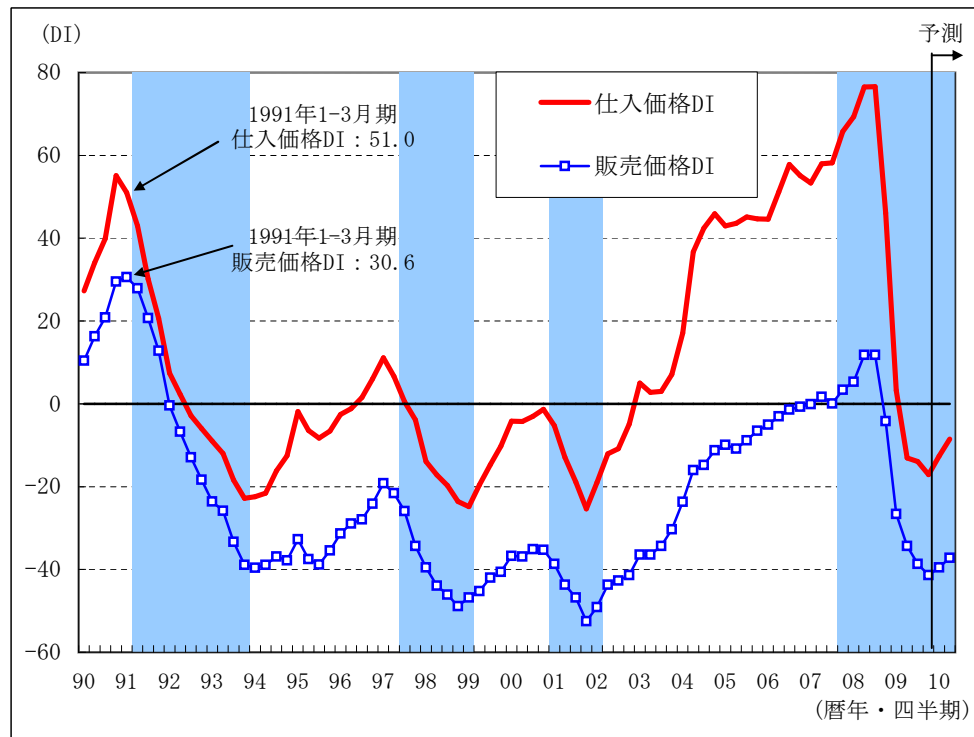
	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	10-12	2010/1-3	4-6
販売価格DI	▲ 4.2	▲ 26.6	▲ 34.3	▲ 38.7	▲ 41.4	▲ 39.5	▲ 37.2
仕入価格DI	46.1	3.2	▲ 13.1	▲ 13.9	▲ 17.1	▲ 12.6	▲ 8.5

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合

図-4-2 金融関連DIの推移

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	10-12
資金繰りDI(季節調整値)	▲ 16.7	▲ 22.4	▲ 21.1	▲ 16.1	▲ 11.3
長期借入難易DI(原数値)	▲ 5.3	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 4.0
短期借入難易DI(原数値)	▲ 2.6	▲ 5.8	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 1.1

※前年同期比。資金繰りDIは「好転」-「悪化」企業割合、
短期・長期借入難易DIは「容易」-「困難」企業割合



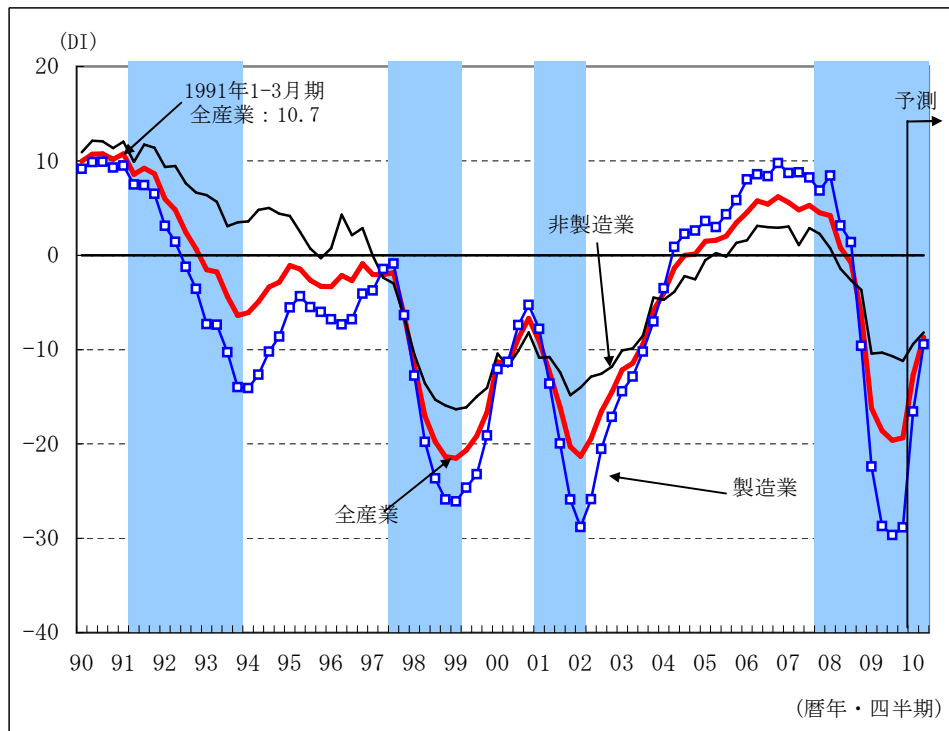
5 雇用、設備

- 従業員D Iは、▲19.3と非常に低い水準が続いている。
- 設備投資実施企業割合は、20%近傍の極めて低い水準が続いている。

図－5－1 従業員D Iの推移（季節調整値）

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	10-12	先行き見通し	
全産業	▲6.2	▲16.2	▲18.6	▲19.6	▲19.3	▲12.7	▲8.7
製造業	▲9.6	▲22.4	▲28.7	▲29.6	▲28.9	▲16.6	▲9.5
非製造業	▲3.7	▲10.4	▲10.3	▲10.7	▲11.2	▲9.4	▲8.2

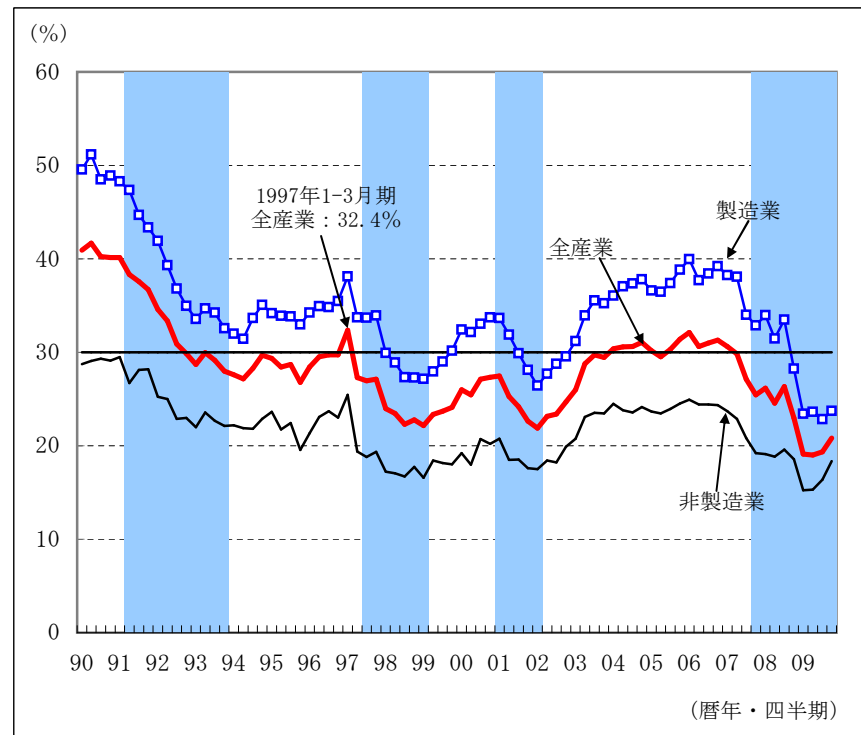
※前年同期比、「増加」－「減少」企業割合



図－5－2 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2008/10-12	2009/1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	23.0	19.1	19.0	19.4	20.8
製造業	28.3	23.4	23.6	22.8	23.7
非製造業	18.5	15.2	15.3	16.4	18.4

※実施企業割合、%



6 経営上の問題点

- 「売上げ、受注の停滞・減少」の割合は、5期連続で非常に高い水準となった。
(前回71.5%→今回71.7%)
- 「製品安」の割合は、5期連続で上昇した。(前回7.1%→今回8.6%)
- 「原材料高」の割合は、5期連続で1桁で推移している。(前回2.5%→今回1.8%)
- 「求人難」の割合は、ほぼ横ばいで推移している。(前回1.4%→今回1.3%)

